



<VOL122.2018.2>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内  
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Henry Grindheim (NOR)	「ともに、光の中を歩もう」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事	栗本 治郎 (熱海)	「広げようワイズの仲間」
北東部長	鈴木 伊知郎 (宇都宮東)	「距離に負けるな北東部、各クラブの個性を磨こう」
もりおかクラブ会長	井上 修三	「原点に戻って 20周年をめざそう！」

今月の聖句 箴言 15章15節



「貧しい人の一生は災いが多いが、心が朗らかなら、常に宴会に等しい。」

会長	井上 修三
副会長	三田 庸平
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	小川 嘉文
メネット	井上 優子

3月定例会のご案内

日時 平成30年3月10日 (第2土曜日) 15時  
 場所 三寿司 5,000円  
 ゲスト 光永 尚生様 (東日本区連絡主事)  
 島田 茂様 (前YMCA同盟総主事)  
 第二例会 3月16日(第3金) ジャーラン 18時30分

井上会長巻頭挨拶



井上会長

2月は「TOF」=Time of Fast(断食の時)。世界の飢餓に苦しむ人々を支援するため、ある月のクラブ例会の食事を抜きにしてその分の金額を献金し、国際が集めて、その年度に定めた支援目標に捧げる奉仕活動。途上国で民生向上のため苦闘しているYMCAが世界YMCA同盟を通じて

給付を申請する。これを TOFESC (評価・選定委員会)で審議し、国際議会で支援先給付額を決める。ちなみに2017~2018年度TOF目標額は1,300円/人以上、当クラブの目標額は15,600円以上となっております。

もりおかクラブでは会費より拠出しておりましたが、財政難により今期より2月にTOF献金として参加メンバーよりいただくことに相成りました。自由献金とはいえ従前、会費より拠出していたにはそれなりの理由があったのですが、それにしても現在の我々の豊かさを思い、感謝の思いを強くしています。

私事を言わせていただければ、2017年1月より塩分取りす

ぎに注意し、薄味食事を実行したところ、食べ物本来の味の再発見など、良い事づくめ。また、秋口からはサツマイモ、リンゴ、みかんに恵まれ風邪もひかず、この寒〜い冬を乗り切れそうです。宴会での盛岡3010運動にも少しはお役にたてたと自負しています。実に単純な修三の単純な食のお話でした。

2月例会の報告

平成30年2月10日(土) ジャーランジャーランにて開催、大関、長岡、井上、井上優子、濱塚、魚住、村上、三田、千葉、小川(敬称略)。ゲスト、中村光晴さん(カナンの園職員、元盛岡YMCA ボランティアリーダー)、濱塚牧人さん(仙台 YMCA ボランティアリーダー)、東彩由海さん(マックス)、宮澤秋彦さん(シュリンプ)、小岩壯太さん(いわぞん)、安恒史織さん(レモン)以上16名の参加で開催されました。

卓話のゲストに中村光晴さんをお迎えしました。中村さんは、かつて盛岡YMCAのボランティアリーダーをしていました。リーダー名は「おかわり」、当時をよく覚えております。三田メンと同じ時期にリーダーをしており、長岡は二人同時に登場してもらおうと見分けがついたのですが、別々に登場すると、どっかよく解らないというタイプがよく似ておりました。濱塚メンは「お！おか

わりだ。」と随分懐かしい様子でした。今晚は、職場の紹介や近況の報告等のお話をさせていただきました。この後特集しております。お楽しみに。

## 遊びは子どものご飯です

中村光晴さん

(カナンの園職員、元盛岡 YMCA ボランティアリーダー)



みなさんこんばんは、おかわりです。YMCA を卒業して以来です、お久しぶりです。大学1年生の頃 YMCA と出会いリーダーになりました。当時ラグビー部に誘われ焼肉をごちそうになっていたの、入部がほぼ決まっている雰囲気でした。新人歓迎の YMCA ブースに「しどう」がいて、ラグビー部から逃げて YMCA に飛び込みまして、4年間リーダーを精力的に活動しました。

現在、奥中山のカナンの園の奥中山学園に勤めています。三愛学舎という高校生が中心ですが、小学生から社会人まで生活している施設です。一緒に生活して、学校に送り出し、放課後から就寝まで一緒に過ごしています。知的障害や発達障害の子供たちが多くいます。リーダーの頃に障害児に出会い、今の職場にボランティアで行ったり、その繋がりで就職しました。障害者という認識に対して定義や解答などは未だになくて、そんなことより違う思いが今はあります。どの子も仲間を求めています。三愛学舎にたどり着くまでに、周りの人と人間関係をうまく築けなかった子供たちです。この子らが一緒に生活していく中で、活

き感が多く出てきます。硬い白米がホカホカのご飯になること、凍てつく外の真冬の気温の実感、なんでもない日常がすべて体験として体に染付いて行くのがよく解ります。これは僕が YMCA に携わり、僕が求めていたこととまったく同じであることに気が付きました。エピソードとしては、クリスマスの行事で名札を付ける、付けなくて2時間意見をぶつけあった事を思い出します。いま考えると「なぜだったんだろう？」と思いますが、仲間が欲しかったのだと思います。「時間があれば子どもたちと遊びなさい」「遊びは子どものご飯です」リーダーの頃に教えられていた言葉をよく覚えています。職場で年度のまとめをしていますが、まったくその通りだと感じています。親とさえもうまく触れあえなかったり、屈折した人間関係の中で育ってきた子どもたちに、良い人間関係を作るためには、よく遊び、楽しくスポーツをしたりするのがとても大事で、ふれあいの中で吸収して行くのがよく解ります。私の毎日がリーダー時代のキャンプのようです。職場で聞いて感動している言葉があります。「悪い子どもはいません、子どもが悪くなるのは、悪い環境と悪い学びがあったからです。」まったく同感です。キラキラした子どもの笑顔が大好きです。



2月定例会集合写真

## 盛岡 YMCA ピンクシャツディ特別講演会

### 「今を楽しむためには」

2月24日、仁王活動センターにて開催、講師 佐々木全先生(岩手大学准教授)をお迎えして、中高生6名、盛岡 YMCA リーダー10名、ユース委員会委員5名の参加でした。



佐々木全先生

全先生からの「息」を使った言葉のあれこれから講演が始まりました。緊張状態での息は、「息が詰まる」「息をのむ」「息を凝らす」。リラックスの息は「息を抜く」「息をつく」「息が弾む」、息を使った言葉のあれこれから講演開始です。

今日のメインは「タグラグビー」腰に付けたタグをタックルの代わりに奪うもので、ラグビーの危険な要素を取り除いた誰でも楽しめるラグビーを通してのコミュニケーションやチームワークを養うのを目的とした、体を使った企画です。入念な準備運動の後、基本的なルールとボールの扱いになれるトレーニング開始。楕円のボールは扱いが難しいのですが、30分くらいで若い参加者たちはボールの扱いにも十分なれました。4つのチームに分けて、試合開始です。タグを奪われた人は、その場に立ち止まりパ

スを出さなければなりません。直接ボールを奪い取るのは禁止で、タグを5つ奪われると攻守交代です、トライはゴールラインを通過すると完成、タッチダウンが必要ありません。5タグになるまでの連続攻撃でトライを目指します。ごちないラグビーですが、どんどん慣れて、戦術も少しずつ理解を始めラグビーらしくなってきました。参加者もどんどん引き込まれて行くのが解ります。スピードも上がり、ラックラーを振り切つてのトライ、ディフェンスを引き寄せてのロングパスなど、チームワークも発展していきます。決して暖かくはない体育館ですが、体はポカポカです。最初は無口なプレイばかりですが、声もたくさん出るようになっていきました。

タグラグビーは初体験でしたが、ラグビーを知らない子どもたちでも十分に楽しめるものでした。しかも男女混合でできるため参加者の性差も関係ありません。短時間で夢中になれるとてもいい企画でした。

終わりの感想では、名前も知らない初めての人たちとの交流でしたが、すぐに不安が無くなり、とても楽しいものでしたとの感想が多く、講演会は大成功でした。

ピンクシャツディは2月28日です。仲間を理解して違いを受け止め、今を楽しむ、いじめを無くし、傍観者にならない。今日のタグラグビーはまさにこれを理解する最高の企画運営だったと思います。年甲斐もなく張り切った長岡。体は大丈夫？ユース委員会の皆様ご苦労さまでした。



# 「フリテン盛岡DAON」

## もりおかクラブの状況報告

2月の出席率	9/14	64 %	ゲスト 13名	ビジター0名	メネット 1名		
メーキャップ	1	名		2月切手	15	g	累計 208 g
2月のにこにこ	18,500	円	累計 21,500 円	2月プルタブ	0	g	累計 22,350 g
2月 石鮫	1,610	円	累計 1,610 円	りんご	0	円	累計 円
2月 献金		円		ファンド合計	34,410	円	

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

2月のハッピーバースディ 全国のワイズメン、ウィメンの方々お誕生日おめでとうございます。

## もりおかクラブ恒例、蕎麦打ち例会開催

今年もやってきました蕎麦打ち例会。毎年2月に開催しております。今年もわいわい、ガヤガヤ楽しい蕎麦打ちの開幕です。毎年2月にはこの蕎麦打ちの記事をかいておりますので、今年のはちがったアプローチで記事を書きたいと思っておりましたが、思うほど例年通りになってしまいそうです。

大関ご夫妻のご尽力に頼るのですが、これも例年通りです。そば粉は体験農場で収穫したもの3Kg、500gの袋6個です。まずは大関師匠が説明をしながらひと通りの手順を踏んで最初の蕎麦を打ち上げました。早速試食開始です。会場には「美味しい」の言葉がこだまでもしているかのような連呼に包まれます。副食は、大関メネットの節子さんが提供の厚焼き卵、はちみつ漬けのたくあん、ポテトサラダ、長岡提供の各種天ぷらです。天ざるさながらのざる蕎麦です。煮上がりを待ちきれなく2回目の蕎麦打ち作業に入った、タイヤは手が粉だらけのため1回目の試食はできません。自分の打った蕎麦まで試食はお預けだよ。



アマゾン川の三日月湖？

長岡、水田牧師がタッグを組んでの打ち方で前代未聞の出来事が起こりました。十分伸ばして少し回転させたときそれは起こりました、中央の生地が下の台にくっついていました。その状態で回したものですから周りだけが周り中央は回転せず、結果三ヶ月状に生地が割れたのです。一同大爆笑、アマゾン川の三ヶ月湖のようです。周りがひび割れてリアス式海岸だの、もっと割れるとフィヨルドだのと生地が割れるのは多々ありましたが、三ヶ月湖が発生したのは10年の歴史上初めての出来事でした。大丈夫ですよ、切つてしまえば解らないさ、っていいわけしながら麺にしあげました。煮上げる前に節子メネットから水分が多すぎたとチェックが入りましたが、煮上がった蕎麦を食した感じではそ

んなに変ではないよ、美味しいよ。水田蕎麦はそこそこの出来上がりでした。さあ、最後まで全部食べるよ～、最後の蕎麦が仕上がった頃には、ワイズのおじさんたちはもうお腹いっぱい。この状態までくると、若いリーダーたちの存在が頼もしいのです。最後の麺、一本まで全部食べつくしました。ほっほ～完食。たくましいリーダーのお腹に全部入りました。今年の蕎麦打ち試食会も大成功です。最後に参加者をご紹介します。大関、節子メネット、濱塚、三田、長岡、井上、優子メネット。ゲストに、水田賢次牧師、リーダーから、ユリポー、チーズ、つよぼん、ガルベス、つくし、まる、タイヤ。大関さん覚えたかい。頑張ろうね。



この時間のために来たのよ



じ～と、チェック太さが気になる？



真剣な大関さん



タイヤも頑張る



本当に嬉しいのよ。



今年も大成功、体験農場蕎麦打ち試食

## 忘れてたまるか、3. 11。もうじき7年が経ちます。

東日本大震災からもうじき7年が経過します。アーカイブスをお届けいたします。今回は2011年、6月暖かくなって来て、冷蔵庫が必要になった時、DBCの芦屋クラブ様から頂いた冷蔵庫

の記事です。もりおかクラブからの SOS に対して二つ返事でご了承いただいた時の感激や、宮古ボランティアセンターのボランティアが大喜びした時の顔を思い出します。その節は本当に有難うございました。

## 芦屋クラブ様寄贈、大型冷蔵庫が 盛岡 YMCA 宮古ボランティアセンターに冷蔵庫が到着



ボランティア活動も6月に入り、急に気温が上がりました。問題発生です、食料の保存が効かない。今まではそのへんに置いてけば天然の冷蔵庫で長持ちしていましたが、この気温ではそうは行かない。ボランティア活動に直接関係ない物品が欲しい。ここはワイズメンズクラブの登場以外にはないでしょう。もりおかクラブに購入依頼がきました。軽い調子で、「OK」と返事をしたものの、16万9千円、おっと簡単に出費できる金額ではないな。そうだ、

芦屋クラブ様にお願いしてみよう。なんと図々しい発想な事か。それでも、芦屋クラブ会長様にメールを送信しお願いしました。早速、嬉しい返事をいただきました。



「芦屋クラブ6月例会からたった今帰って来たところです。ご要望の宮古ボランティアセンター向けの大型冷蔵庫の件ですが、既にメールでは多くのメンバーから賛同を得ていましたが、本日、「目に見える形で支援できるのは嬉しい」「DBCのもりおかクラブとの絆が深まる」等々、出席者全員の賛成を得ることが出来ました。パナソニック製家庭用大型冷蔵庫550Lの代金169,000円をご指定の口座に振り込みますので、

口座番号等ご連絡ください。宮古ボランティアセンターで働く多くのボランティアに少しでもお役に立てばとの、芦屋クラブ全員の気持ちですので、どうぞもりおかクラブ様からその旨お知らせ頂いて、出来るだけ早くご手配下さいませ。御地の1日も早い復興をお祈りいたしております。 芦屋クラブ 桑野友子」



## 東日本大震災、盛岡市の追悼行事

### 「祈りの灯火2018 ~あなたに届けたい~」

平成30年3月11日(日)13時~14時46分(黙祷)~19時

盛岡城址公園(盛岡歴史文化館前広場)

盛岡広域首長懇談会主催、もりおか復興支援ネットワーク共催

忌まわしい震災、失意のどん底に突き落とされましたが、7年の歳月をかけて這い上がってきました。生きている人々は未来に向かうしかありませんが、命を失った方々のご冥福を祈って追悼行事が今年も開催されます。今を生きる私たちは、亡くなった方々を忘れない限り、私達の中で生きて行けます。思いを子孫に語り次ぐことにより、さらに生きていけるでしょう。

「忘れてたまるか、3.11 あの時の絆を」、第16回東日本区大会の表題です。もりおかクラブはこの気持ちを絶対忘れては

いけません。日本全国、全世界からの支援の温かみを思い出し次の震災では、力の限り支援でお返ししましょう。でもこの日だけは、自分たちの事として犠牲者を追悼しましょう。

今年は、雪が多くて片付けた雪の山が家の周りに沢山あります。その壁に、穴を掘りロウソクを建てて火を灯して見ました。夕方の薄暗い世界に柔らかな明かりが灯りました。手をあてて犠牲者の冥福を祈りました。3月11日まで、毎日明かりを灯します。ご冥福をお祈りいたします。



ロウソクの明かりが柔らかい、ご、冥福をお祈りします。

## 盛岡 YMCA おそ〜い新年会

2月11日、リーダー達のおそ〜い新年会が開催されました。冬休みのスキーキャンプが終わり、一息入った時期に開きました。リーダー達にまじり、もりおかワイズもリーダー達をねぎらいました。魚住理事長のご挨拶を真剣に聴いたリーダー達、乾杯はいつもの通り、立ち上がり、全員とグラスを交わしてご挨拶です。まだ名前を覚えていないリーダーに名前を聴いて、「ごめんな、覚えるまでに3回は聞かなきゃダメだ。」なんて言い訳をしながら、次々に乾杯を繰り返しました。

このリーダー達は本当にいい子たちです、ワイズのおじさん、おばさんは君たちが大好きです。これからも盛岡 YMCA と、集う子ども達をよろしく願いいたします。



楽しかったね〜、君たちが大好きさ、ご苦労様。

## 編集後記

芦屋クラブ様から頂いた冷蔵庫は本当に感激したことを覚えています。当時の私はまだワイズメンズクラブの事をよく理解していませんでした。この事をきっかけにワイズメンズクラブという組織と意識を理解できたのです。感謝、感謝でした。

タグラグビーをしました、体は動きませんでした。リーダーや高校生の速さに翻弄されまくり亀状態でした。特にリーダーの「つくし」と「ビリケン」の速さは驚きでした。

大関節子メネット、毎年の蕎麦打ち試食会の準備大感謝です。大関メンに言わないところがみそです。ではまた来月 長岡